

# NIIGATA

## 市報にいがた

2022  
8/7  
No.2772

編集・発行／新潟市広報課 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 ☎025-226-2089  
※掲載情報は7月28日時点のものです

令和4年8月7日 | 第1・3週 日曜発行 |  
\*第2・4・5週の発行はありません。

# 水の恵みと 暮らすまち にいがた

問 土木総務課 (☎025-226-3025)

# 100

大河津分水 通水100周年  
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水  
通水50周年  
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary



### 目次 CONTENTS

#### | 特集 |

1~3 水の恵みと暮らすまち  
にいがた

4 にいがたCITY NOW

- 新型コロナワクチン
- 野菜deちょいしおメニュー
- マイナンバーカード  
未申請者に交付申請書を発送
- 民間経験者など 市職員を募集

5 連載 新潟の食を巡る  
知ろう!行こう!佐渡  
犯罪被害者に理解と支援を

他3ページは区役所だより  
「情報ひろば」は別冊で発行しています

#### 市長より



日本一の大河・信濃川がもたらす四季折々の自然は、水都新潟を象徴する風景です。この何物にも代え難い景観を災害から守り、安全で豊かな暮らしを支えているのが大河津分水と関屋分水です。

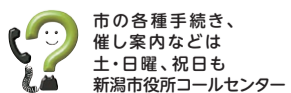
上流域で大雨が降ったときには増えた水量を2つの分水から直接日本海へ流すことにより、堤防の決壊を防いでいます。また、両分水の働きで下流域の水害が減ったことで越後平野に良質な農地や住宅地が増え、新幹線や高速道路などの交通網の整備にもつながりました。さらに本市の中心部では、河口付近の両岸の埋め立てにより市街地の一体的な発展が進んだほか、全国初の緩やかな堤防「信濃川やすらぎ堤」が整備され、まちなかで水に親しめる貴重な憩いの場となっています。

今月、大河津分水は通水100周年、関屋分水は通水50周年を迎えます。この節目を契機として、都心エリア「にいがた2km」の中心に位置する水辺空間のさらなるにぎわい創出に取り組み、水の恵みと共にある「新潟らしい暮らし」を次の世代に引き継いでいきます。

新潟市長 中原ハチロー



政令市  
15周年



新潟市の人口・世帯数 (6月末住民基本台帳人口。かっこ内は前月との比較) 人口/776,145人(-242)  
男 373,753人(-113) 女 402,392人(-129) 世帯数/347,466(+122)

年中無休8:00~21:00

こたえてコール 025-243-4894  
FAX 025-244-4894 Eメール 4894call@call.city.niigata.jp

新潟県新型コロナ受診・相談センター  
☎025-256-8275  
(24時間対応。土・日曜、祝日も受け付け)